

「第7回高知県新しい公共支援基金事業運営委員会」

日 時：平成24年7月27日（金）15:40～16:10

場 所：高知共済会館「桜」

会 議 次 第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 追加新規事業 ～NPO中山間地域活動促進委託事業～
 - (2) 平成24年NPOとの協働モデル事業の事業費の増額
 - (3) その他
 - ・モデル事業視察スケジュール
3. 閉会

議 事 録

（事務局 岡村）

ただいまから、第7回「高知県新しい公共支援基金事業運営委員会」を開催させていただきます。

今回の議題は、追加の新規事業、平成24年度のNPOとの協働モデル事業の事業費の増額、モデル事業の視察スケジュールについての3つとなっております。よろしくお願いいたします。

新しい公共支援基金事業は、透明性を高めながら事業実施することが要件となっております、この運営委員会は原則公開となっております。また、当会議の議事録につきましても、委員のお名前を伏せた上で県のホームページに掲載させていただきますので、あらかじめ御了承ください。

それでは、委員長、議事進行をよろしくお願いいたします。

（委員長）

はい。それではよろしくお願いいたします。

早速、次第に従って進めていきたいと思いますが、予定よりも時間がたくさんありますので、遠慮なくご意見をいただきたいと思います。

「追加新規事業 ～NPO中山間地域活動促進委託事業～」

（委員長）

それでは、追加新規事業についてです。事務局から説明をお願いいたします。

（事務局）

はい。まず、新しい公共の支援基金事業についてですが、23年、24年の2カ年事業として、1億3,100万円で基金を造成しています。このうち、23年度の決算と24年度の当初予算を合わせまして、現在の執行見込額が1億2,327万3,000円となっております、772万7,000円が残額となっております。

平成25年度に執行できる内容は、事業の検証や監査、運営委員会の運営経費に限られていますので、このままでは基金が残ることになります。基金を有効に活用するためにも、追加の新規事業に

ついて提案をさせていただきました。

資料ですが、青いインデックスがつけました資料の1の2ページをごらんください。

まず、今回の追加事業についての県の考え方ですが、施策の内容の1.背景に記載していますとおり、現在、高知県では中山間地域のさまざまな課題に直面をしております、中山間対策の担当課だけではなく、全庁を挙げて中山間対策に取り組んでおります。地域の維持再生のためには、NPOなどが果たす役割が大きく、その活動に期待が集まっています。そうしたことを踏まえまして、地域の活性化に取り組んでいるNPOや活動団体が中山間地域を元気にするための役割や可能性、課題ですとかノウハウを学ぶことによって、さらに今後の実践活動につながるような取り組みを事業化したいと考え、県内4つの中間支援組織さんに対し、事業の提案をお願いいたしました。それが資料の2になります。それに対する回答を資料の3として添付しておりますが、NPO高知市民会議さんから参加の意思表示がありました。ほかの3団体からは、時期的な問題などから参加しないという回答をいただいております。

NPO高知市民会議さんから提出のありました『『集落』をタノシムチカラ』の開催事業の事業提案書を資料の4としております。主な内容としましては、オープニングセッションと「特産品を育てる」、「観光をつくる」、それから、「担い手を育てる」、「くらしをタノシム」という4つのセッションで構成し、それぞれで全国の事例を紹介するとともに、県内で活動されている方を交えて意見交換しながら、高知で取り組みを進めている人たちが交流を図ることを目的とした、1日型の催しを開催するというものです。そこに中山間地域における取り組みへのアイデアが生まれ、地域で何か動き出すことが期待されるという事業提案になっております。

参加の呼びかけにつきましては、10ページの下の方に載っておりますが、地域づくりの団体や集落活動センターの運営にかかわる組織、それから、市町村の観光協会や雇用創造協議会、道の駅運営組織などに加えて、県や市町村職員、各大学の地域づくり系のゼミ生を想定しまして、参加目標は150人程度ということとなっております。

取り組みの流れにつきましては、12ページに。経費の内訳につきましては、13ページ、14ページに添付しております。

今回の運営委員会で事業を承認いただけましたら、事業の実施は当年度ですので、急ぎ、9月補正予算の要求を行い、最終的には、9月議会で議決を得て予算が決定となりますので、今回この運営委員会の選定をもって最終決定ということではありません。また、予算要求の過程で修正が入ることもございますので、ご了承ください。

事務局からは以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございます。それではまず具体的な企画も含めてご質問をお願いしたいと思います。

もし、質問がなければ、ご意見を。この運営委員会から企画に対して注文をすることもできますので、こういう視点で入れてくださいというものがあればぜひ意見を出していただけたらと思います。

(委員長)

すぐくまじめな会議を企画されてるようなんですが、中山間のこういう取組を対象とすると、特産品をつくるとか、さまざまなおもしろい取組があって、特に、物産関係が豊富なんですか。それは、持ってきて売るといったようなことはできないんですか。

(委員=NPO高知市民会議関係者)

難しいですね。

(委員長)

今回の趣旨が中山間ですから、NPOセンターでもつかみ切れていない任意団体が中心対象となることが多いです。例えば、僕が関わっている〇〇なんかは、全くこのようなシンポジウムや交流機会には寄ってこないですけど、一方で地域では活発に活動しているNPOです。そのような団体に、出てきてもらって参加をしていただけるものにできればいいと思います。ぜひ今回はそういう機会にして、高齢化してる方々を、巻き込んでいくという戦略を持ってほしいなと思います。

そのためにも県とも協働して、特に地域支援企画員の皆さんは、活発に活動して、地域へどんどん絡んでいるので、タイアップしながら、参加を促していただけたらと思います。その視点を持っていただけたらなと思います。この企画は、ゲストが先端を走ってる人たちばかりなんで、参加者には気後れする人たちもいるかもしれないですが、この壁を取り払わないといけない。最近の新聞でもよく出てますよね、西土佐村の〇〇などの事柄はやっぱりターゲットやと思います。地域に密着して活動している方々が結集して勇気づけられるような機会にしたいと思います。

もう一つはやっぱり大学生がターゲットだと思いますから、そこも戦略を持たれたほうが良いと思います。具体的にターゲットとなる対象をリストアップされて、本当に個別にシラミつぶしにつぶすような進め方を推進していただきたいなと。うちの大学でいえば、大豊町の〇〇地域や、本山町の〇〇団体は大学の生徒が活動に参加しています。そういうところをいっぱい加えてリストアップしていただきたい。そうすると参加者数が150人で済まないかもしれないですね。

(委員)

この運営ですが、地域で活動を続けている人たちが、古い人たちなので、普段の生活で「くらしをタノシム」というところまではなかなか難しいなと、また、セッションという言葉にもなじみがないのではないかと思います。

(委員長)

そういう意味では、もう1セッションあってもいいのかもしれないね。難しい話だけでなく、同じようなことをしてる人が顔を合わせて交流するという場所。いろんな工夫をして、地域の現場でまさに活動している人たちを集めて元気づけるみたいな、そういう仕組みを考えていただきたいと思います。

(委員)

私も〇〇のほうでやっている活動があるんですが、一生懸命やろうとしてるんだけど、そこに、もう一つ「楽しみ」とか、気づきが結構いっぱいあるんじゃないかなと思って、〇〇の人たちにも来てもらいたいと思ってるんですね。だから、本当に行きたいなと思えるようなものにしてもらったらすごくいいかなと。肩の力を抜いてもう少し楽しみながらやらんかえというような、そんな雰囲気がこの企画にありますね。

(委員長)

一つはね、どうやったら楽しくなるかというテーマにしたらいんじゃないかなと思います。結構楽しくやっておられるんだけど、ずっと同じメンバーだとやっぱり停滞してくるじゃない。そこに、例えば、〇〇地区だったら、大学生が来たりとか、交流することによって、メリハリが出たり、全体が楽しくなる。いろんなものがあるという体験、そういうのを交流する。例えば大変だなあって思ってやってる人たちが来て、こんなんしたら楽しくなるって発想に変わります。多分、気がついてない人がいっぱいいる。まさに協働というところのきっかけとなる。そのためには多様な項目が必要で、戦略も要る。

(委員長)

よろしいですかね。何かほかにも意見、要望がある方、言っただけだと、事業に反映させることができますが。

それでは、採択をしたいと思いますので、関係者の方は、御退席をお願いします。

【選定協議】

事業実施 及び 委託先として「特定非営利活動法人NPO市民会議」を選定

「平成24年度NPOとの協働モデル事業の事業費の増額」

(委員長)

それでは次の議題に移って2番目の24年度のNPOとの協働モデル事業の事業費の増額について事務局からお願いします。

(事務局 種田)

はい。事業の承認をありがとうございました。

続きまして15ページの資料の5をごらんください。前回の運営委員会で情報提供させていただきましたが、四万十町の中山間地の一次産業自立支援事業ですが、正式に辞退の申し出がありました。そこで、この事業に係る事業費が浮きますのでその金額をどうするかというところですが、当初この委員会で事業選定をしていただいたときに、今回のような辞退などにより事業費に残が出たときには他の事業費に振り分けるとの取り決めをしておりましたので、他の事業、このモデル事業の実施主体に対しまして追加の事業費を受け入れることが可能かどうか、また、可能な場合は希望する金額の聞き取りをしまして表に整理をしたものとなります。

表の左からですが、事業名がありまして、実施主体。参考としまして網かけの部分が運営委員会で選定を受ける前の当初の申請額になります。その右側に交付決定額、これは選定を受けた後の交付決定額で、さらにその右に今回聞き取りをしまして追加の申請の希望があった内容の主なものを記載しています。その右側が追加に係る増額の申請額となっています。さらにその右側に既に交付決定した額に今回の追加申請額を加算した金額を最終交付決定額の案として記載をしています。

なお、上の2つの事業ですね、黒潮町とこどもの文化の森実行委員会の事業につきましては、当初の事業選定の際に申請額満額で交付決定を行っていますので、今回の増額希望調査の対象とはしておりません。事業の増額を希望されている団体の主な内容を説明させていただきます。

まず、上から3つ目の土佐清水市の「協働による地域内移動システム構築事業」ですが、こちらについてはこの新移動システム構築後の広報などのフォローアップ体制の強化に係る費用としまして160万円。それからその下のぷらす5によります、「“でまえ”交通安全教室 All kochi」は、事業の効果を高めるための多種多様な交通安全教室の開催に係る経費としまして135万円。それから、中土佐町の「人のつながり復活から再起する矢井賀プロジェクト」は、カフェ運営の強化、それから、カフェオープンの手前にイベントを追加するということで、109万1,000円。その下の須崎市の「移住定住促進プログラム実施事業」は、情報発信・移住者受け入れ態勢の強化、起業・就業支援としまして100万円。リハビリキッチンモデル試行事業は、事業の検証及び市民による自主的な事業継続への仕組みづくりに係る経費としまして201万3,000円をそれぞれ追加経費として計上しています。各団体からの詳しい内容ですとか、積算の資料につきましては資料の6として添付をしています。

追加申請についてのご審議をお願いいたします。

【選定協議】

申請のあったすべての「NPOとの協働モデル事業の事業費の増額」を選定

「その他」

(委員長)

はい。それではですね、最後の「その他」になります。
モデル事業の視察スケジュールの最終確認です。

(事務局 種田)

モデル事業の視察について、日程調整をさせていただきました。資料の7に旅程をまとめましたので、ごらんください。

日程調整の結果、当初の参加予定先と変わっていらっしゃる方もいらっしゃいます。ここにお名前がなくても、都合がついて、参加希望される場合は、事務局のほうにお声をおかけください。

4回に分けて視察を予定しております。場所によっては公共交通機関がなく、山道の移動ですとか、長距離の移動が想定されることから、今回はジャンボタクシーを借り上げて移動する予定となっております。集合場所については、とりあえず県庁という形で資料を作成しておりますが、集合時間とか、あとは昼食なんかを含めまして委員の皆さんと個別に調整をさせていただきたいと思っておりますので、その際は、よろしくお願ひします。

8月23日(木)のコースにつきましては、リハビリキッチンモデル試行事業へ参加される皆さんが昼食をつくる場に、ちょうど視察に行く予定になっておりますので、そこで昼食を一緒にとる予定にしておりますのでご協力をお願いいたします。

はい。事務局のほうからは以上です。

(委員長)

それぞれ自分の視察の日程、確認をお願いします。それで、これ見ていただいてご質問等ありましたらお願いします。

(委員長)

よろしいですかね。ぜひ、よろしくお願ひしたいと思ひます。これそれぞれの視察、事務局からはどなたがついていくかは決まっていますか。

(事務局)

はい。基本的には事務局2名で行きます。課長、課長補佐についても、いくつかの事業の視察に参加予定です。ジャンボタクシーですので、まだお1人、お2人追加可能ですので、参加を希望される方はご連絡ください。

(委員長)

ということですので。

視察の視点なんですけど、これはそれぞれの方の、それぞれの視点で視察を行っていただいけません。ただ共通に視点を持っておかなければならないのは、これ新しい公共をつくる事業なので、どういう具合に新しい公共なのか、そこが一番難しいんですけど、意識してください。一番

重要なのは協働です。もうこれは皆さんよくおわかりになってますね、NPOと行政との協働、NPO間の協働をどれぐらい事業体内でつくられているか、促進されていくかということは、我々も視点を持っておく必要があると思いますので、よろしく願いいたします。是非、質問もしてきてください。協働の取組の方法や、促進というポイントの確認をお願いしたいと思います。

これで一応すべての議事が終わりです。何かそのほかでありましたら、ご発言いただけたらと思います。よろしいですかね。それでは、ありがとうございました。これで事務局にお返しします。

(事務局)

はい。どうもありがとうございました。本日いただきましたご意見等につきましては参考にさせていただきまして、事業実施に反映させていきたいと考えております。

なお、委員会の承認事項につきましては、委員会から県へ報告をいただくことになっておりますので、本日の検討、それから選定結果、承認内容につきまして、委員会を代表して上田委員長に署名をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして、第7回高知県新しい公共支援基金事業運営委員会を終了いたします。どうもご協力ありがとうございました。